

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 29 年 3 月 日

計画の名称	酒々井町における水の安全・安心で快適な環境の整備		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	酒々井町
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を90.5% (H23) から90.9% (H27) に増加させる。 ②長寿命化計画策定に伴う管渠カメラ調査を2,500m行う。 ③下水道雨水整備率を47%(h23)から66%(h27)に増加させる。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H23当初)	(H25末)	(H27末)	
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	90.5%	89.8%	90.9%	
②長寿命化計画策定に伴う管渠カメラ調査 調査延長 (m)	0m	0m	2,500m	
③下水道雨水整備率 雨水整備面積 (ha) / 雨水整備面積 (ha)	47%	66%	66%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	591 426	A	588 424	B	0 0	C	3 2	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.5% 0.5%
-------	------------	------------	---	------------	---	--------	---	--------	---------------------------	--------------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
酒々井町下水道事業の社会資本整備総合交付金評価実施要項に基づき事業計画作成者である酒々井町担当課にて評価実施		平成29年3月
		公表の方法
		町ホームページ上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業												全体事業費 (百万円)	備考										
A1 下水道事業																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	施期間 (年度)												
											H23	H24	H25	H26	H27								
印旛処理区																							
A1-1-1	下水道	一般	酒々井町	直接	-	汚水	新設	墨1号・2号幹線整備（未普及解消）	汚水管 φ350 L=180m 汚水管 φ350 L=180m	酒々井町						24.4 18.4							
A1-1-2	下水道	一般	酒々井町	直接	-	汚水	新設	酒々井南部地区整備（未普及解消）	A=71.7ha A=71.7ha	酒々井町						84.0 42.5							
A1-1-3	下水道	一般	酒々井町	直接	-	汚水	新設	馬橋地区枝線整備（未普及解消）	汚水管 φ200 A=17.7ha 汚水管 φ200 A=17.7ha	酒々井町						187.9 150.7							
A1-1-4	下水道	一般	酒々井町	直接	-	雨水	新設	酒々井南部地区整備（浸水対策）	A=71.7ha A=71.7ha	酒々井町						272.0 213.0							
A1-1-5	下水道	一般	酒々井町	直接	-	汚水	新設	管渠長寿命化計画	点検、調査、計画策定	酒々井町						20.0 0.0							
合計																588.3 424.6							
B 関連社会資本整備事業												事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26									

										合計						
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	--

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業													事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種		要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26				
No.1処理区																			
C-1-3	下水道	一般	酒々井町	直接	-	汚水	新設	馬橋地区枝線整備（未普及解消）	汚水管 φ200 L=50m 汚水管 φ200 L=50m	酒々井町						2.8 1.8			
															合計		2.8 1.8		

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
C-1-3	基幹事業である枝線と接続した末端管の整備を一体的に行なうことにより、効率的な事業の推進、普及促進を図る。												

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値以上に下水道処理人口普及率は向上している。 ・管渠カメラ調査は次期新計画に移行するが、長寿命化計画策定に対する影響は軽微にとどまる見込みである。 ・雨水整備区域が増加し、浸水災害に対する危険が減少した。 	
--------------------------------	---	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（水道処理人口普及率）	最終目標値	90.9%	目標値と実績値に差が出た要因	町単独事業においても、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため。
		最終実績値	92.2%		
	指標②（長寿命化計画策定に伴う管渠カメラ調査）	最終目標値	2,500m	目標値と実績値に差が出た要因	事業費の充当不足等により事業執行時期の調整を行ない、新規計画に移行したため。
		最終実績値	0m		
	指標③（下水道雨水整備率）	最終目標値	66.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値と同値。
		最終実績値	66.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・行政人口は微減する傾向が続くが、汚水管整備の促進により、新規定住者は増加傾向にある。
--	---

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・引続き面整備を行ない下水道処理人口普及率の向上を図る。 ・長寿命化計画を策定し、既存下水道施設の機能維持のため計画的な更新、更生を行なう。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	酒々井町における水の安全・安心で快適な環境の整備	
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象

印旛処理区計画図

